

【Remudy ニュースレター第9号】

Hsp72 は筋肉機能を保存し重症の筋ジストロフィーの進行を遅らせる

配信日:2012年 5月 08日

今日は、筋ジストロフィーの治療研究に関する論文が、先月の Nature 誌に掲載されましたのでご紹介します。医療者・研究者向けです。

オーストラリア・メルボルン大学の Lynch 先生のグループは「Hsp72 は筋肉機能を保存し重症の筋ジストロフィーの進行を遅らせる」研究を報告しました(Nature 484, 394-398, 2012)。

熱ショックタンパク質(Heat shock protein)に注目した研究であり、治療候補薬物の作用機序として、筋小胞体/小胞体 Ca²⁺-ATP アーゼ(SERCA、細胞質内 Ca²⁺ 除去を行う主要なタンパク質)の機能が維持されることが示唆されています。

現在、治療開発研究が進行中の dystrophin 欠失を補う治療と相補的な新しい治療法開発につながる可能性が期待されます。

詳細は、Nature のページへのリンクを貼りましたので、ご覧ください

http://www.nature.com/nature/journal/v484/n7394/fp/nature10980_ja.html?lang=ja

今回の内容に関しては、熊本大学神経内科・菅智宏先生にご協力いただきました。ありがとうございます。

ご質問やお問い合わせは、remudy@ncnp.go.jp にどうぞ。

編集責任者:木村円(Remudy 患者情報登録部門 事務局)